

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

長生村教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：一松小学校）

「算数科における ICT の活用」

5年「面積」 三角形の面積の求め方や、等積変形を使って、平行四辺形の面積の求め方を考える。

- (1)「見いだす」場面では、電子黒板に図形を拡大して提示したり、動かしたりして本時の課題をつかむ。⇒児童に着目させたい部分を焦点化させることができる。
- (2)「自分で取り組む」場面では、タブレット上で平行四辺形を切ったり、動かしたり、回したりして自力解決につなげる。⇒簡単に図形の変形操作ができるため、多くの考えを導き出すことができる。
- (3)「広げ深める」場面では、学習支援ソフトのファイルの保存・共有機能を活用し、お互いの考え方を共有して、比較検討する。
- (4)「まとめあげる」場面では、自分の言葉で書いた学習のまとめをタブレット上や電子黒板を通してお互いに共有し、考えを深める。⇒人前で話すことが苦手な児童も意見や考えを出しやすくなる。

メリット

- ・ ICT を活用することで、道具を使って切ったり、貼ったりすることが苦手な児童も抵抗なく活動することができ、学習に対する意欲が高まった。
- ・ 一度に多くの児童の考えを提示し全体で共有できるので、比較検討の時間を十分とることができ、考えが広がった。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：長生中学校）

「国語科及び村行事における ICT の活用」

- (1) 全学年 「長生村少年の主張大会」原稿作成をタブレットで作成をした。
- (2) 各学級で選抜されたクラス代表の発表を発表会場からリモート配信し、全校で視聴をした。
- (3) その映像をインターネット上に限定公開をした。

メリット

・生徒一人ひとりがワープロソフトを使用して原稿作成をし、教師が訂正、点検、保存を行う。

⇒児童は原稿の修正が容易で、心の変化・成長を経年で見ることができる。

⇒電子保存により、場所をとらず、容易に検索をすることにより、時間短縮になる。教師も生徒の変化・成長を経年で評価することができる。

・事前録画をしておけば、発表日に欠席しても、代替映像を使うことができる。

⇒感染症拡大時にも、時間的・空間的な制約を受けずに、学びを継続できる。

・インターネット上に限定公開をすることにより、当日見ることができなかった保護者や地域の方も視聴可能になる。

⇒都合でこられなかった家族や、会場への移動が困難なお年寄りも時間的・空間的な制約を受けずに視聴することができる。

